

令和1年度（平成31年度）事業報告書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

NPO法人 NEXTEP

1 事業の成果

【小児在宅支援ステップ】

小児専門の在宅支援として、「訪問看護」「ヘルパー」「福祉有償運送」「相談支援」「障害児通所支援事業」を実施。多職種、複合サービスによる在宅支援の体制は、全国的にも先進的な取り組みとなっている。直接的なサービスに限らず、「施設及び訪問見学の受け入れ」「小児訪問看護研修会、多職種研修会」「訪問看護ステーション向けの相談窓口」「小児慢性特定疾病児童等自立支援相談事業」等幅広いアプローチを通して、地域を超えた小児在宅支援の体制整備、普及に取り組んだ。また、令和2年度4月開設準備として、熊本市南区近見へ「障害児通所支援事業」の施設整備を行った。

【不登校児サポート事業フィールド】

不登校児サポート事業では、月1回の活動を継続し実施している。毎回の活動の振り返り等を通してスタッフの対応を検討し、活動内容の質的向上を目指した。引き続き子どもたちの将来的な自立を目指しながら、成長を見守っていく。

【就労サポート事業】

「久遠チョコレート熊本店」では、令和2年3月末時点で19名を雇用。アルバイトを経て短時間正職員として雇用したスタッフや、企業就職を叶えたスタッフもあり、当初の目的である「社会的自立に向けたステップアップ」をより具現化することができた。

また、久遠チョコレートの運営をきっかけに、より継続的な若者支援を行うことを目指し、令和2年度4月スタートの就労継続支援A型事業所 開設準備を行った。

【異業種交流会・講演会 フォーラム】

異業種交流会・講演会事業では、子どもたちを取り巻く諸課題について、一般の方に参加いただき、支援の輪を広げることを目指した講演会を実施した。

※虹の森クリニック坂野真理先生講演（令和1年10月／演題：心や行動に困難を抱える子どもたちのケア／参加者数：70名）

※熊本市教育長遠藤洋路氏講演会（令和1年12月／演題：熊本市教育委員会の挑戦／参加者数：51名）

【法人全体】

法人全体での事業「青空フェス」「ファミリーキャンプ」を通して、お子さんに障がいがあっても“家族でお出掛けする”ということが当たり前になるよう後押しするイベントを実施した。難病とその家族のための屋外イベント「青空フェス」（平成31年4月）の来場者は年々増加し、今回ついに800名となった。飲食店、遊びブース、またボランティア等多くの協力の元を実施。多くのご家族、こどもたちの笑顔あふれる場を実現することが出来た。また、秋には家族間交流、レスパイトを

目的に、熊本県内外から難病の子どもと家族（4 家族 19 名）を対象にしたファミリーキャンプを実施。ご家族にとっては今後のお出掛けにも大きな自信を生むと同時に、観光施設やバス会社との受入れにあたっての調整を通して、社会の側の障害を減らしていく働きかけの一つになる事が出来た。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
不登校児サポート事業	農作業体験	月 1 回	合志市	10 人	合志市近郊の不登校 児とその家族 3～5 組 一般参加者 5～15 名 / 1 回	520
	勉強会・講演会	年 2 回	合志市	10 人	合志市近郊 90 人	
就労サポート事業	久遠チョコレート 熊本	毎日	熊本市	13 人	熊本市近郊 1 日 1～4 人	33,422
介護保険法、健康保険法に基 づいた訪問看護事業	訪問看護事業	毎日	熊本県	11 人	合志市近郊 1 日 20 人	66,461
障害者の日常生活及び社会 生活を総合的に支援するた めの法律に基づく障害福祉 サービス提供事業および地 域生活支援事業	居宅介護事業	毎日	熊本県	8 人	合志市近郊 1 日 20 人	27,032
障害者の日常生活及び社会 生活を総合的に支援するた めの法律、児童福祉法に基 づく相談支援事業	相談支援事業	毎日	熊本県	3 人	合志市近郊 1 月 8 人	48
児童福祉法に基づく障害児 通所支援事業	児童発達支援事 業・放課後等デイサ ービス事業	毎日	熊本県	10 人	合志市近郊 1 日 5 人	34,469
道路運送法に基づく福祉有 償運送サービス事業	福祉有償運送事業	毎日	熊本県	6 人	合志市近郊 1 月 9 人	0

異業種交流会・講演会事業	不登校児サポート事業と共同で講演会を実施	不登校児サポート事業 勉強会・講演会参照				0
その他目的を達成するために必要な事業						